

### 3. 市内二十四寺院の六地藏を観る

菅波昌夫

日本で最も目に付く仏様は、何と言っても「お地藏様」として親しまれている地藏菩薩でしょう。地藏菩薩は、私達があらゆる罪苦から離脱する迄は無数の分身に変化して六道の衆生（此の世の中に生きるすべてのもの）を救い出し、此れらの患苦を救うのが地藏菩薩である所から、仏教では人間及びそれ以下の苦しみの世界を六種類に分けて六道と言います。日本では平安時代中期より信仰されてきましたが、中国では先例が無く、日本で六道思想の発達により形成されたものです。

その名称・形像は典籍（書物）によつて異なりますが、一般的には西行法師が京都に入り、「辻」ごとに地藏を安置し、「盆」の七月二十四日に地藏を巡る六地藏詣が始まりと言われています。江戸初期の十七世紀になると、山科の徳林寺、上鳥羽の浄禅寺、桂の地藏堂、伏見の大善寺などで、以後、これにならつて比叡山、高野山、大阪、江戸などで六地藏詣が始まり、路傍や町の辻、墓地などに安置されました。石像の六地藏が各地に見られて、民間における信仰の始まりを示しています。

此処、越谷市内には四十二の寺院があり、その内の二十四寺院に於いて六地藏を観る事ができ、次に宗派、寺院名、所在地を表示します。

真言宗

- |            |            |
|------------|------------|
| ① 清蔵院（蒲生）  | ⑨ 光明院（大沢）  |
| ② 光明院（蒲生）  | ⑩ 東福寺（東越谷） |
| ③ 地藏院（蒲生）  | ⑪ 浄光寺（北越谷） |
| ④ 智泉院（川柳）  | ⑫ 玉泉院（南荻島） |
| ⑤ 成就院（川柳）  | ⑬ 金剛寺（東町）  |
| ⑥ 照連院（瓦曾根） | ⑭ 宝正院（増森）  |
| ⑦ 光福寺（大間野） | ⑮ 観音寺（大成町） |
| ⑧ 観照院（七左）  | ⑯ 西福院（谷中）  |
- 浄土宗
- |            |            |
|------------|------------|
| ① 報土院（登戸）  | ⑤ 無量院（船渡）  |
| ② 天嶽寺（越ヶ谷） | ⑥ 浄音寺（大成町） |
| ③ 清浄院（大松）  | ⑦ 西教院（西新井） |
| ④ 安国寺（大泊）  |            |
- 曹洞宗
- ① 浄山寺（野島）

#### 《「六道」の解説》

地藏は、その功德を表す為に六種類の六地藏塔で表し、六道に苦しむ衆生を救くうと言う。

六道の種類

- |       |        |
|-------|--------|
| 一、地獄道 | 大定智慧地藏 |
| 二、餓鬼道 | 大徳清浄地藏 |
| 三、畜生道 | 大光明地藏  |
| 四、修羅道 | 清浄無垢地藏 |
| 五、人道  | 大清浄地藏  |
| 六、天道  | 大堅固地藏  |

（六地藏に向かつて右側の地獄道より左側へと観る）

#### 《「地藏建立の理由」の解説》

- 一、先祖供養・子孫の安穩を祈願
- 二、火災消防その他の祈願
- 三、墓地の出入口にその墓地の護りとして
- 四、祈願成就のお礼として
- 五、道しるべを兼ねて
- 六、納骨堂の護りとして
- 七、戦没者の冥福を祈つて
- 八、悪病の侵入防除・往来の人の安全を祈つて部落の出入口の路上に集落の安全

#### 《参考資料》

日本文芸社の「仏教のすべて」金岡秀友著

六地藏の石像例

